

# こんにちは！ 市民病院です！



## 麻疹について

今年9月に、関西国際空港で麻疹の集団感染があり、県下でも感染が報告されています。

### 症状

感染してから10日くらいで、発熱や咳・鼻水といった風邪のような症状が表れます。

2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が現れます。肺炎や中耳炎を合併することもあり、患者1,000人に1人の割合で、脳炎が発症すると言われています。

### 治療

特別な治療法はなく、解熱剤・咳止めなどを用いた対症療法が中心となります。

### 予防方法

麻疹は、接触や咳・くしゃみだけでなく、呼吸によっても感染します。感染力が非常に強いので、同じ部屋にいただけでもうつることがあり、手洗い・マスクのみで予防はできません。

麻疹にかかったことがあるかどうか、ワクチンを接種したかどうかがわからない方は、麻疹の抗体検査を受けると、

麻疹への免疫があるかが分かります。

### 抗体検査

麻疹の抗体検査は、血液検査でわかります。検査には、7,000円程度の自己負担が必要です。

結果が陰性(マイナス)あるいは判定保留(土・プラス・マイナス)の場合は、麻疹に対する免疫が十分とはいえません。発症を防止するためのワクチン接種を、強くお勧めします。

○免疫が十分であると判断されれば、予防接種を受ける必要はありません。

### 子どもだけの病気では ありません

麻疹のほか、風疹・おたふくかぜ・水ぼうそうは、子どもだけの病気ではありません。一生に一回は、誰もがかかる可能性のある病気です。これらの病気には、すべて、抗体検査ができます。ワクチンの接種歴等が分からない方は抗体

## 市民病院からのお知らせ

現在、麻疹ワクチン、MR(麻疹・風疹混合)ワクチンが不足しています。  
接種をご希望の方は、まず、お問い合わせください。

検査を受け、免疫が十分でない場合は、それぞれの予防接種を受けましょう。

### 問い合わせ

加東市民病院医事課  
☎ 42・5511

## 平成29年度 アフタースクール入所児童を募集します

**対象** 放課後において、保護者や同居の親族が、仕事や病気などの理由により、家庭で保育できない市内小学校・特別支援学校の1年生から6年生までの児童  
(継続入所を希望される場合にも、申し込みが必要です)

**応募期限** 11月30日(水)

- ※平成29年4月から7月に利用を開始する児童のみ受け付けます。
- ※夏休み以降に利用を開始する児童については、平成29年5月に受け付けます。

**入所手続** 申込書に必要事項を記入のうえ、必要書類を添えて、子育て支援課に持参してください。申込書は子育て支援課、市内各アフタースクール・市内各保育所等にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

**添付する書類** 勤務証明書など、保育できないことを証明する書類  
※18歳以上65歳未満の同居者全員分が必要です。  
※申し込みが定員を超えた場合は、入所できないことがあります。  
※受付期間終了後も利用児童の入所申込を受け付けますが、今回の受付期間中(11月)の申し込みを優先して審査します。  
※障害がある、または障害があると思われる児童については、事前に子育て支援課へご相談ください。

**問い合わせ** 福祉部子育て支援課(庁舎1階) ☎43-0408

## 「特定計量器(はかり)の定期検査をうけましょう」

計量法の規定に基づく加東市区域のはかりの定期検査が実施されます。この検査は、適正な計量を行うためのもので、有償・無償に関わらず、取引や証明のために使用されているはかりが対象です。

これまで受検しなかったことがない、または、はかりを新たに導入された事業所については、この機会に必ず受検してください。

**検査の期間** 平成29年1月17日(火)～27日(金) ※平日のみ  
**検査の場所** 店舗・事業所等へ直接訪問します。  
**申し込み・問い合わせ** 地域創造部商工観光課(庁舎3階)

☎ 43・0530